

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

@第 77 回脱原発八千代ネットワーク定例会

2019 年 1 月 26 日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 12/26 福島原発刑事訴訟において、東電元幹部 3 被告（勝俣会長、武黒 VP、武藤 VP）に禁固 5 年求刑。津波による事故発生を予見できたのに対策を怠たり、双葉病院入院患者ら 44 名を志望させた罪。
- (2) 東電による ADR 和解案の拒否が続き、手続きの打ち切られた住民は 1.7 万人に達した。一部は提訴に踏み切っている。
- (3) 「安全神話」を振りまいてきた早野龍五東大名誉教授による英科学誌への原発事故論文撤回へ。問題は、①個人被ばくデータを無断使用、②市民の被ばく線量を 1/3 に過小評価（本人認めたが意図的ではないと釈明）。
- (4) 1/21 事故の直後、双葉町の 11 歳の女子が甲状腺に約 100mSv の被ばくをしていたことが判明（東京新聞の情報公開請求による）。国による報告隠ぺいか？

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 現在の稼働原発は 9 基（大飯③④、高浜③④、玄海③④、川内①②、伊方③）。
- (2) 12/26 関電岩根社長は福井県西川知事を訪れ、約束していた「使用済み燃料の中間貯蔵施設の県外候補地選定」が遅れていることを謝罪。  
溜まる一方の使用済み燃料はどこへ？  
一方、1/22 九電は玄海原発の乾式貯蔵設備新設と SFP リラッキング工事の申請を行なった。
- (3) 女川原発再稼働に関する県民投票条例制定を求める署名数が必要数（有権者の 1/50）の約 3 倍となった。  
第二段階の県議会審議に入る。



### 3. その他のトピックス

- (1) 12/27 中国電力と JFE スチールは事業性を理由に蘇我石炭火力計画（1070MW）の中止を発表。一昨年の市原計画（関電/東燃ゼネラル、1000MW）中止に続くもの。千葉県で残る計画は袖ヶ浦（九電/東ガス/出光興産、1000MW × 2）計画のみ。
- (2) 1/17 日立は英国での原発建設計画を「凍結」し、今期 3000 億円の特別損失を計上と。原発輸出計画（事業ならびに建設）は台湾、リトアニア、ベトナム、米国、トルコ、英国と軒並み挫折へ。しかし、1/15 経団連&日立中西会長は「国内再稼働はどんどんやるべし」と発言。

<以上>